

## 報告書抄録

ふりがな	ふくりんじこふんぐん							
書名	福林寺古墳群							
副書名	中ノ池川支流補助通常砂防(総流防)に伴う発掘調査報告書							
シリーズ名	滋賀県文化財保護協会調査報告							
シリーズ番号	第8集							
編著者名	宮村誠二							
編集機関	公益財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月	令和8年(2026年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ふくりんじこふんぐん 福林寺古墳群	しがけん 滋賀県 やすし 野洲市 こしのほら 小篠原	252107	343-094	35度 04分 02秒	136度 02分 21秒	20210104 ～ 20210325 20210401 ～ 20211130 20220701 ～ 20220829 20231030 ～ 20240322	450m <sup>2</sup>	中ノ池川 支流補助 通常砂防 (総流防)
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
福林寺古墳群	古墳群	古墳時代後期		古墳		須恵器 土師器 鉄鏃 刀子 耳環		
	墓地	室町時代		石仏群		石仏 土師器皿		
要約	<p>福林寺古墳群2号墳・3号墳を対象に発掘調査を実施した。</p> <p>2号墳は墳丘径10.1m程度の円墳に復元できる。南西方向に開口する横穴式石室を内部主体とする。横穴式石室は右片袖式である可能性が高い。2号墳は横穴式石室の特徴から、7世紀前葉に築造されたと考えられる。</p> <p>3号墳は横穴式石室を内部主体とする墳丘径11.4mの円墳である。横穴式石室の内部から須恵器・土師器・鉄鏃・刀子・耳環などが出土した。横穴式石室や出土遺物の特徴から6世紀末～7世紀初め頃に築造されたとみられる。耳環の組み合わせや出土点数から3人以上が埋葬されたと想定できる。出土遺物には時期差があり、6世紀末以降7世紀前半にかけて初葬と追葬が行われたことも推測できた。</p> <p>調査地では石仏や土師器皿なども出土した。これらは15世紀～16世紀頃の所産とみられる。古墳群の西側には福林寺があり、当該期には調査地とその周辺が寺院背後の墓域として利用されていたことが想定できる。</p>							